

## 教育基本法の改正に対応した学習指導要領案の主な改訂点

- 学習指導要領（冊子）の冒頭に「教育基本法」（全文）、「学校教育法」（抜粋）を収録。
  - 学習指導要領の「総則」の冒頭に、「各学校においては、教育基本法及び学校教育法等に示すところに従い、適切な教育課程を編成するものとする。」と規定。
- 以上により、学習指導要領が教育基本法等の理念を踏まえたものであることを明らかにする。

### 1 「教育の目標（第1章第2条）」における新たな規定を踏まえた改訂

#### ○幅広い知識と教養、豊かな情操と道徳心、健やかな身体（第1号関連）

- ・「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視。
- ・学校教育全体を通して、言語活動や体験活動、道徳教育、体育や食育を充実。

- ・道徳教育について、目標に、伝統や文化の継承・発展、公共の精神などを規定するとともに、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うことを明記。
- ・発達の段階に応じた指導内容、例えば、挨拶、規範意識、自他の生命の尊重、社会の形成への主体的な参画などを具体的に明記し、指導内容を重点化するとともに、体験活動を重視。
- ・先人の生き方、自然、伝統と文化、スポーツなど児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材を開発・活用。
- ・「道徳教育推進教師」を中心とした指導体制を充実。
- ・各教科等においても、道徳の教育内容を適切に指導することを明確化。

#### ○能力の伸長、創造性、職業との関連を重視（第2号関連）

- ・各教科等において、知識・技能の確実な定着とそれらを活用する学習を充実し、思考力・判断力・表現力等を育成。
- ・望ましい勤労観・職業観の形成を図るため、職場体験活動を充実。【特別活動】

#### ○公共の精神、社会の形成に参画する態度（第3号関連）

- ・規範意識、人間関係を築く力、みんなのために働くことや社会参画への意欲や態度の育成を重視、集団宿泊活動やボランティア活動、清掃などの当番活動を充実。  
【道徳、特別活動】
- ・物事の決定の仕方やきまりの意義、持続可能な社会の構築などよりよい社会の形成に参画する資質や能力を育成する指導を充実【社会】。

#### ○生命や自然の尊重、環境の保全（第4号関連）

- ・自他の生命を尊重する心の育成を重視、自然の中での集団宿泊活動を重視。  
【道徳、特別活動】
- ・生命の尊重、自然環境が人々の生活に与える影響、持続可能な社会の構築のための環境保全の取組、家庭生活と環境との関係などの学習を充実【社会、理科、家庭、技術・家庭】。

○伝統と文化の尊重、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重、国際社会の平和と発展に寄与（第5号関連）

- ・先人の生き方や伝統と文化、スポーツなど児童生徒が感動を覚える教材を活用し、指導を充実。【道徳】
- ・ことわざ、故事成語、伝説、古文・漢文の音読など古典の指導を充実【国語】。
- ・世界文化遺産や国宝、狩猟・採集の生活や国の形成、江戸時代の教育や文化、近現代史の重視など我が国の伝統と文化に関する歴史学習を充実するとともに、世界の地理、文化の多様性、国際社会における我が国の役割などの学習を充実【社会】。
- ・そろばん【算数】、唱歌・和楽器【音楽】、我が国の美術文化【美術】、和装【技術・家庭】などの指導を充実
- ・武道を必修化【保健体育】。
- ・小学校高学年に「外国語活動」を導入。
- ・道徳教育や「社会」において、我が国や郷土を愛する旨については引き続き規定。

2 「教育の実施に関する基本（第2章）」における新たな規定を踏まえた改訂

○義務教育（第5条関連）

- ・教育基本法・学校教育法に義務教育の目的・目標が規定されたことを踏まえ、中学校の教育課程の共通性を高め、小中学校を円滑に接続するなど、義務教育としての一体性を確保。
- ・例えば、小中学校間の反復（スパイラル）による指導を充実【算数・数学】、小中学校の教育内容の構成を一体化【理科、家庭、技術・家庭】、小学校高学年に「外国語活動」を導入することにより中学校「外国語」へ円滑に接続。

○家庭教育（第10条関連）

- ・家族と家庭に関する教育を重視し、家庭生活を大切にする心情をはぐくむとともに、家族や家庭の役割の理解、幼児との触れ合い体験などの指導を充実【家庭、技術・家庭】。

○幼児期の教育（第11条関連）

- ・幼小の円滑な接続を図るため、規範意識や思考力の芽生えなどに関する指導を充実するとともに、幼小の連携を推進。
- ・幼稚園と家庭の生活の連続性を確保するため、幼児の家庭での生活経験に配慮した指導や保護者の幼児期の教育への理解を深めるための活動を充実。
- ・預かり保育、子育て支援を充実。

○家庭、地域等との連携・協力（第13条関連）

- ・例えば、道徳教育や「総合的な学習の時間」、部活動などにおいて、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を充実。

○宗教教育（第15条関連）

- ・「宗教に関する一般的な教養」に関する教育を重視し、世界の主な宗教のおこりや宗教の分布、宗教の社会生活における役割などの指導を充実【社会】。